

🌳 もい・かわだより NO.22 🐟

2023.09.20 なかよしこども園

🌟 今日はどうする？！

昨日から本格的に始まったリレーの対決。昨日はもりが勝ち、かわが負けました。そこから**もいVSかわ**の構造が出来上がり…両担任が互いの部屋にいと『なんているの？戻りな！！』と子どもたちから指摘を受けることも…そして今日は昼食の時も冷戦状態…？2日目にして面白いぞー！！



各クラスの様子をお伝えする前に…

昨日から『リレーに勝ちたい！金メダルが欲しい！』という思いが子どもたちのなかに芽生えて、一人ひとりがクラスのなかで色々な思いを感じています。子どもたちは、本気で金メダルを取りにいて、だからこそ、色々な作戦を考えています。その中で、【誰が遅い・誰が速い】や【〇〇は応援してたら？】など、大人が聞くとシビアな話もこれから出てくると思います。でもそれって、子どもたちが本気だから、クラスで勝ちたいから、出てくる言葉です。今後のクラスだよりでは、そんなやりとりもどんどん出てくるかもしれません。私たちは、子どもたちから出るそんな話ととことん向き合っ、一緒に 勝つためには と考えていきます。時には厳しいと感じることもあるかもしれませんが、きっと子どもたちが最後には導いていくと思います。クラスでの、子どもたちの気持ちのぶつかりあいを改めて、一緒に見守ってほしいと思います！



🌀かわ組編

朝登園して、**けい**が興奮状態で伝えてきた！

けい『**けいくん** 作戦考えてきたんだけどさ！あのさ、昨日の〜〜！（話始める）』山田『**けいくん** ありがとう！でもせっかくだから、ミーティングの時にみんなに伝えてほしい！いい？』

ということで、すぐにお休み調べ⇒ミーティング開始！

山田『**けいくん**がみんなに言いたいことあるんだって！』

けい『昨日は、最初**いたちゃん**でっていう順番だったけど、これだと負けちゃうかもしれないから、変えたらいいと思う！』**いつき**『弱い人が最初にやって、速いひとが最後にすればいい！』

山田『**けいくん**は、どんな順番がいいと思う？』**けい**『**そうへい⇒いた⇒いつき⇒だいき**。その後は昨日と同じ！』山田『自分は？』**けい**『アンカー！』**そうへい**『俺もアンカーやりたい！』

山田『**けいくん**ありがとう！でね、昨日さ、**のかぜ**と**いおちゃん**と**かっち**と**だいき**は昨日応援してんだけど、今日はどうする？』**いお・のかぜ**『応援！』**かふな**『・・・』（実は今日の朝、**かっち**から『今日やる』と聞いていた担任。みんなの前で言えるかな…とても葛藤している…）すると

きょうご・なぎ『**かっち**速いじゃーん』と背中をさする

きょうご『**かっち**やないと金メダルもらえないよ』**子どもたち**『**かっち**速そう！大丈夫だよ！』

山田『**いお**と**のかぜ**と**かっち**がやらないってなると、もり組より人数少なくなっちゃうね。』

なぎ『遅くてもいいんだよ！やってみよう！』と隣の**かっち**と**のかぜ**に説得。**のかぜ**『いいの！』そんな様子を見ていて**いお**『やっぱやろっかな〜』

山田『**いおちゃん**やってみるって！**のかぜ**と**かっち**は、どうして走りたくないって思う？』

ふたり『・・・』**いつき**『めっちゃ弱いから？』**いお**『絶対に負けちゃうから？』

けい『絶対にもり組強いから？』**そうへい**『でも！練習すれば速くなるんだよ！』

のかぜ『・・・もり組が速いから』山田『**のかぜ**言ってくれた！みんな、それ聞いてどう？』

そうへい『それで諦めたら終わっちゃうんだよ』**なぎ**『でも諦めないのが大事だよ！』

いつき『じゃあ**ななか**と走ったら？』**そうへい**『でも**ななか**どこで走るか分かんないよ』

山田『そうだね。もり組の順番は分からないし、同じ順番の人と必ず走ることはならないこともあるよ。』自分の気持ちと葛藤している**のかぜ・かふな**。山田『じゃあさ、今決めなくていいよ。みんなでミーティングしながら、どうしたいか決めてね。自分の気持ちと相談しててね。』

のかぜ・かふな『・・・（頷く）』

いつき『俺もいい作戦思いついた！』山田『教えて！』

いつき『速い人が最後にやって、弱い人が最初にやる！遅くても最後に速ければ大丈夫！』

-----ここで速い・遅いの話になる-----

山田『そもそもさ、誰が速くて誰が遅いの？自分はどちらだと思う？』と、聞いてみました。

速い⇒**きょうご・なぎ・めい・かふな・だいき・れいな・おとほ・てまり・こう・いた・りゅうと・けい・いつき・そうへい・みつき・かいと**

遅い⇒**すみれ・ゆら・れい・のかぜ・いお**

いた『ねえ。この中で嘘ついてる人がいる！』山田『え、どういうこと？』**子どもたち**『**かいと**？

みっちゃん？』**すみれ**『**みっちゃん**は、速いよ！』山田『**いたちゃん**、どういうこと？』

いた『背がちっちゃい子とか』 れい『でも背が小さくても、速い人はいるよ』

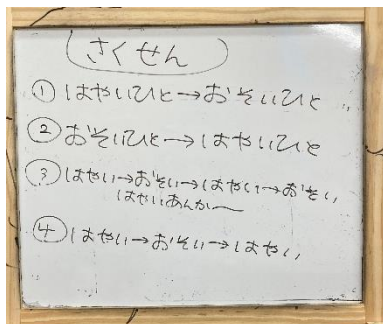
そうへい『背小さくて身体が軽いから速いってこともあるよ』

と、色々と話をしながらもこれまで出てきた作戦を整理してみた。

『①遅い⇒速い ②速い⇒遅い ③速い⇒遅い⇒速い…速いアンカー ④速い⇒遅い⇒速い』

山田『今日はどの作戦にする？』投票で決めることに。

そして今日は③の作戦を試してみることにしました。その後みんなで頭を突き合わせて順番を決めて…今日はこの走順で走ることにした！



そしてその後もミーティングは続きながらも、浮かない顔の**のかぜ**。官野先生と二人で話して、どうやら、もり組の**こうた**とは絶対にやりたくないよう。官野先生との話のなかで、今日はやってみる。嫌だったら明日そこから考える。となった様子…でもどうしても走るなら**かっち**も一緒にやってほしいようで、しきりに誘っていた。が、困っている**かっち**。・・・山田と**かっち**で話すことに。

山田『**かっち**、**かっち**の気持ちは**かっち**にしかわからないよ。どうしたいか自分で決めていいんだよ』**かっち**『・・・やりたくない』と、本当の気持ちを言ってくれました。

それを聞いた**のかぜ**は浮かない顔をしていたけれど、園庭でもり組より先に練習することになるとみんなと一緒に出ていき、走りだした**のかぜ**！・・・と思ったら転んでしまった…。

大泣きしながらも列に並んでじっと待っていた。そして今日は・・・かわ組の勝ち！

とっても大喜びして、次に言ったのは『この金メダルは明日も守るから！』という言葉でした。

昨日のはじめてのメダルをかけたリレーでの銀メダルが、子どもたちそれぞれにどんな気持ちをもたらしただのか…子どもたちと話すなかで、色々な話をしました。ついに遅い・速いの話になったりもしました。やりたいけど負けるのがいや…自分の気持ちと葛藤していた（る）**いお・のかぜ・かふな**。やると決めて転んで泣きながらもバトンをもらうときにはバツと切り替えた**のかぜ**。やりたくないと言えた**かふな**。

ミーティングではじっと聞いていたけれど、『昨日公園で練習してきたんだ！』と言った**こう**。足が痛いかも…と走る直前になって訴えてきた**いゅうと**。走るならゆらからバトンをもらいたいと言ってきた**れい**。きっと、それぞれに色々な葛藤をしているんだなと感じました。

まだ始まったばかり。これから、もっと個々のことについて・金メダルをずっと持ち続けるには・走りたくない子の気持ちに沿う…色々なことを子どもたちと話していきたいと思っています！

🌿 もい組編 (お休み・・・なお、きっぺい)

昨日初めてのもりかわ対決をして勝ったもり組。朝の集まりで改めて金メダルの喜びを分かち合いました。勝った余裕からか、朝のミーティングで作戦会議をしたけれど新しく出てきた作戦は一つだけ・・・
改めてここまで出た作戦をまとめると

- ・線ぎりぎりを走る
- ・バトンを落とさない
- ・手を振る
- ・速い人がアンカーをやる
- ・手を伸ばしてバトンを渡す
- ・速く走る
- ・「はい！」って言ってバトンを渡す(今日出てきた案)

今日の予定は、【リレーの作戦会議・リレーの練習・鬼ごっこ大会】だったので、早速園庭でリレーの練習をすることにしました。
バトンを落とさない様に渡すため、一人ずつ一周走ってバトンを渡す練習です。
実際にバトンを持って走ってみると、お部屋では出てこなかった作戦がいろいろ出てきました。

- ・あしをあげる(ひろや)
- ・てをぐーにする(こうた)
- ・ぱとんをあせらないでわたす(まな)
- ・じめんをけてはしる(まな)

【気持ちを表現する大切さ】

みんな今までよりももっと速く一生懸命に走る姿がありました。ただ、昨日必死に走っていたひまりが鉄棒の所で見ていました。すると**かすみ**が誘いに行って『みんなでやらないとだめなんだよ』と言うと**ひまり**が『やりたくない・・・』自分の気持ちを言葉にして言えたのです。それを聞いていた**れおな**が『やりたくないときはやらなくていいんだよ』と声をかけました。

昨日**れおな**は初めてのもりかわ対決で走ることができませんでした。それをみんなの前でちゃんと『はしりたくない』と言ったんです。吉田もみんなもその気持ちを受け止め**れおな**は応援していました。でも、みんなが一生懸命走って金メダルを勝ち取った姿を見てお帰りには『あしたははしる！だってみんながまけたらかなしいもん。』

じしんついた！』と言ったのです。そんな経験をした**れおな**だからこそ掛けられた言葉だったんだと思います。

【相手を認めるという経験】

バトン練習をしている中でもう一つの経験がありました。実は昨日の作戦会議で『**ななか**はおうえんすればいい』という発言がありました。それはどうしてか？とみんなに聞くと『**ななか**はおそいから』という答えが出てきました。でも、昨日の勝負で**ななか**は先生と頑張って走り、勝つことができたことで、みんなからその言葉は消えていったのです。

そして、今日のバトン練習で**ななか**にバトンが渡るとななかは自分でトラックを一周し次の人にバトンを渡しました。その姿を見ていたもり組のみんなは自然に**ななか**にハイタッチをして**とうぎ**は『**ななか**、おしえなくてもじぶんではしれたね！』と**ななか**に駆け寄り頭をナデナデしてあげていました。**あきと**も『もうまちがえないね！』とすごく嬉しそうに吉田に言ってきたのです。

昨日の発言はそこだけ見ると厳しく感じるかもしれませんが、この姿から子どもたちから出てきた純粋な思いだということ、それがあったからこそ今日の**ななか**の変化をそれぞれが認め、励まし、喜ぶという経験に繋がったのだと思うのです。

まだまだ始まったばかりのもりかわ対決リレーですが、すでに子どもたちはこんな経験をしています。残念ながら今日の対決はかわの勝利でした。銀に変わったメダルを見て『ぎんめだるでももらえればいい』という発言もありましたが、**こうた**の『くやしい。きんがいい！』と言った言葉を聞いて周りの子どもたちにもその悔しさが広がっていき最後には『ほんばんではぜったいかつ！』という気持ちに変わりました。

明日はどんな思いや気持ちがでてくるか、子どもたちの姿をしっかり見守っていきたいです。

